

SDGs 万博市民アクションに資源循環型分科会で参加

万博ごみゼロサイトを開設

<https://expo25gomizero.jp>

大阪ごみ減量推進会議では、万博会場におけるゼロウエストの実現にむけ万博協会資源循環課との2年にわたる交渉を積み重ねてきました。分別BOXを目に入りやすい距離感で設置し、多国籍の観光客に対応できるようにスタッフの配置が可能な限りされています。

ごみのもとを断つためのリユース食器の導入は、東西各ゲート方面にキッチンカーのブースで実施されています。

会場で感じたこと

リユースの意味が伝わらないことも多く、座る場所も限られているので、リユース食器回収場所から離れたごみ箱に廃棄される場合も多いようで、3Rステーションでは、リユース食器のスタッフが立って回収もしています。

また、飲食出展者は紙カップを使用しており、燃えるごみには紙カップ類が目立ちます。リユースカップの利用を促進することを主催者として今からでも呼びかけて、全体のごみ量を減らすことをしてほしいと感じました。

サイトに投稿してください

☆ステップ1

<https://expo25gomizero.jp>

万博ごみゼロサイト 検索

☆ステップ2

会場のごみ対策で気が付いたことを投稿してください

↓↓↓

グーグルアカウント
未作成の方、利用し
たくない方
どなたでもお気軽
にテキストで投稿
>投稿フォームへ

グーグルアカウント
をお持ちの方
ログインして写真付
きで投稿を
>投稿フォームへ



地球環境基金

Japan Fund for Global Environment

グリーンコンシューマー大阪ネットワーク2025年度総会（3月23日）を開催しました。～今後の団体の在り方を提案～

事業報告、決算、役員改選、組織の形態について（特定非営利活動法人の解散にむけて）も可決されました。1998年から活動を開始し、2000年にNPO法人取得様々な活動を行ってきました。今後は、NPO法人としてではなく、より自由度の高いNGOとして活動をしていくための議論を半年ほどですが、活動しながら方向性を決めていきたいと思います。

千里山の関大前キャンパス前に移転して5年、吹田市の環境先進都市での市民活動の在り方、多様な団体、とりわけ個人の自主的な活動との出会いがあります。今アジェンダ21資源部会との協働もはじまり、「水問題シリーズ」は講座、見学そして無料給水機設置ウォッチング、マイ容器持参店OKの呼びかけ、マップづくりなども今後も予定しています。

総会後の研修会は、「PFASの水汚染と水道管老朽化問題」をテーマに行いました。PFAS問題は、当会理事の末田一秀さんが大阪府職員時代の環境担当としての経験も交えて、大阪市水道労組で構成される水政策研究所からは実践の中からのお話で、今後の課題も話されました。その第2段として3ページに特集しています。